

ライトチューンでも衝撃の速さを叩き出す! **新型GR86&BRZ**  
**驚愕のポテンシャル!!**

大胆な軽量化を施しつつ  
 タイヤサイズは235

HKSのGR86は、このデモカーでタイムアタックに向けてのプロジェクトがスタートした。今回はベース車両のポテンシャルチェックがおもな狙い。HKSによるほぼノーマルに近い状態というが、助手席やリアシート、サイドブレーキまで内装類の取り外しで大胆な軽量化を施しており、車両重量は1150kgに仕上げた。これはマイナス100kgほどになる。

足まわりではHKSのハイパーMAX Sをベースに、バネレートと減衰力を高めたもの。タイヤはカスタマーが無加工で履けるサイズとして、前後235/40R18をチョイス。当日は2銘柄を履いた。

エンジン系はHKS Hi-power er SPECILマフラーと、スポーツ触媒付きのエキマニの試作品であるスーパーマニホルドRスペックのみ。これで谷口信輝選手のアタックで、いきなり1分1秒台に突入してしまったのだ!

HKSでも1分3秒台が出れば御の字と思っていたという。排気量アップで小さなコーナーの立ち上がりが速くなり、スポットや接着などパネル同士の接合などボディの進化がタイムに結びついていると分析している。そのため、サスセッティングも先代とは違ってきており、GR86とBRZも違

軽量化を施した**HKS GR86**が  
 ノーマルエンジンでも  
**筑波1分1秒台!**

HKS		
ZN8 GR86		
DRIVER   谷口信輝		
LAP TIME	TIRE   ADVAN A050G/S USED	1'02.805
	ADVAN A08B	1'01.872
	ADVAN A050G/S	1'01.855

この企画では GR86 & BRZ のノーマル状態でのアタックから、ハイグリップタイヤを履いた状態でのパフォーマンスをはじめ、現時点でのチューニング状況下でのポテンシャルをチェック。まずはいきなり大ニュースとなった HKS GR86 の筑波アタックの話題から。やはり新型の素性は驚愕のレベルにあった!



谷口信輝選手のコメント

「ファーストステップで、暫定仕様だったにもかかわらず速かった。それは暫定でもまずまずのセッティングだったのと軽量化が効いている。もうひとつ、タイヤが喰ってくれた。GR86 になってエンジンにパンチも備わったし、ステアリングがすごく効いてノーズが入るので乗っていて極めて楽しい」



GR86 ではワイドフェンダーも含めたエアロキットを開発するという。今回リアウイングをテストしていたが、ポン付けではアンダーが強くなるだけで、タイムアップにはつながらなかったという



エンジン本体はノーマルのまま。開発中のエキマニ、キャタライザーが装着される。スピードリミッターカットが備わっていた



カーボンなど材料置換は行っていないが、内装は徹底的に省かれ（サイドブレーキもない）、車重を 1150kg まで軽量化。運転席のシートはブリッドのフルバケット



マフラーはすでに発売されている Hi-power SPEC-L を装着



サスキットは HIPERMAX S がベースで、市販の F5・R6kg/mm から F10・R12kg/mm にレートアップ。キャンバーは F4 度、R3 度。トーはほぼゼロでセッティング

う仕様で考えているという。そして、この取材後、ワイドボディ化を施して 295/35 R18 の A050G/S を履いたアタックでは、タイムを 1 分 1 秒 286 まで短縮している。

パーツについては、マフラーとサスペンションはすでに製品化が進んでいるが、今後はエキマニや、ECU 関連、ボルトオンターボ、スーパーチャージャーなど、エアロキットの開発が進むという。

SPEC ■ HKS スーパーマニホールド R スペック (試作) ■ HKS Hi-power SPEC-L マフラー ■ L.S.D. (2way) ■ HKS SPL サスキット (F:10kg/mm R:12kg/mm) ■ ENDLESS ブレーキキット ■ ADVAN Racing RS III (F & R:18 × 9J 50)

